

- お知らせ -

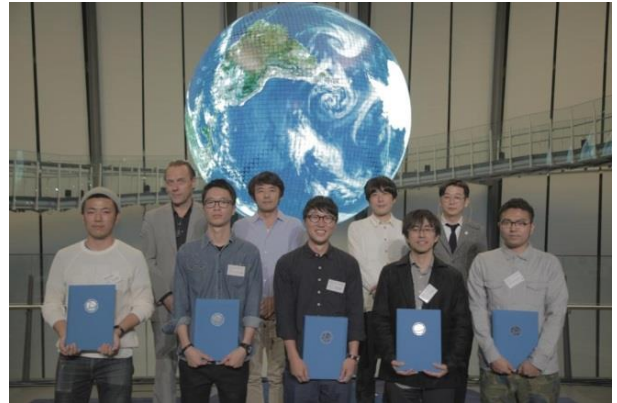
ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 2015 審査結果発表

にっぽんかがくみらいかん

日本科学未来館(略称: 未来館、館長:毛利衛)は、2015年10月13日(火)に「ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 2015」の最終審査と授賞式を行いました。

本コンテストは、多角的な視点から生命と地球の未来を考える未来館の「つながり」プロジェクトの一環として開催するものです。プロジェクトの基幹ツールである地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」の新たな可能性や表現方法を切り拓くことを目指し、2014年から始まりました。第2回目の開催となる今年は、「地球の時間/Time on the Globe」をテーマに6月10日(水)～8月17日(月)に募集を行い、国内外から40作品の応募がありました。

大賞作品は11月16日(月)から1年間、「ジオ・コスモス」の常設コンテンツとして上映いたします。また、入選の4作品も10月23日(金)～11月15日(日)まで期間限定で上映いたします。是非、貴媒体にてご紹介いただけますようお願いいたします。



後列左から、審査委員/インゴ・ギュンター氏、小久保英一郎氏、辻川幸一郎氏、長谷川踏太氏
前列左から、受賞者/中野拓馬氏、サマーハウス氏、河上裕紀氏、佐藤充孝氏、瀬賀誠一氏 (superSymmetry)

■ 概要 ■

タイトル ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 2015 (<http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/gc3/>)

テーマ 「地球の時間 / Time on the Globe」

応募期間 2015年6月10日(水)～8月17日(月)

応募総数 40作品(国内応募37作品、海外応募3作品)

審査委員長 毛利衛(日本科学未来館 館長)

審査委員 インゴ・ギュンター(アーティスト)、小久保英一郎(天文学者)、ジェフ・ミルズ(DJ/テクノプロデューサー)、辻川幸一郎(グラフィックデザイナー/映像作家)、長谷川踏太(Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター) ※五十音順

主催 日本科学未来館

■ 受賞結果 ■

大賞 「Awakening horizon ～地動～」 河上裕紀(株式会社オムニバス・ジャパン)、村井智(tymote Inc.)

入選 「星降るスノードーム」 佐藤充孝(株式会社オムニバス・ジャパン)、there is a fox

「マイネイムイズタイム」 サマーハウス

「地球の進化論」 中野拓馬(株式会社東北新社)、佐藤広行(株式会社 オムニバス・ジャパン)

「タイム パーティクルズ」 superSymmetry(株式会社オムニバス・ジャパン)、大野哲二

※本件に関する画像は下記ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/press/>

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 (press@miraikan.jst.go.jp) TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

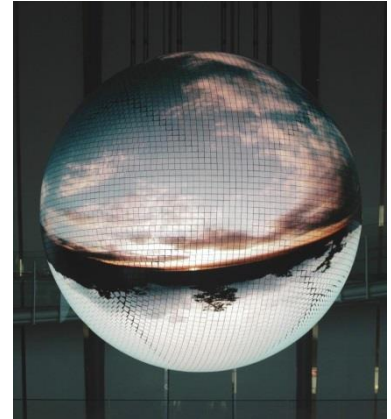
ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 2015 受賞結果

【大 賞】

「Awakening horizon ～地動～」

河上裕紀 (株式会社オムニバス・ジャパン)、村井智 (tymote Inc.)

地球の自転をテーマにした実写作品。日の出と日の入りなど、異なる風景の地平線を半球でつなぐことによって見えてくる新たな発見や驚きを表現している。



「Awakening horizon ～地動～」

【入 選】 ※制作者五十音順

「星降るスノードーム」

佐藤充孝 (株式会社オムニバス・ジャパン)、there is a fox

プラネタリウムをモチーフにした作品。ジオ・コスモスをスノードームに見立て、数多くの星座がジオ・コスモスに降り積もる様子を表現している。



「星降るスノードーム」



「マイネイムイズタイム」

「マイネイムイズタイム」

サマーハウス

アボリジニの民族的な模様をベースに、リズムが織りなす地球の時間をカラフルで力強く表現したグラフィカルな作品。

「地球の進化論」

中野拓馬 (株式会社東北新社)、佐藤広行 (株式会社オムニバス・ジャパン)

進化論図をモチーフに地球の起源からの進化をアニメーションで表現した作品。進化だけでなく、作者が想像する未来の人間の姿も見る事ができる。



「地球の進化論」



「タイム パーティクルズ」

「タイム パーティクルズ」

superSymmetry (株式会社オムニバス・ジャパン)、大野哲二

365日、季節、1日など、地球の自転や地軸の傾きから現れる事象を、数字や幾何学的なモチーフでリズムカルに表現した作品。

■上映スケジュール

1.ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 2015 受賞作品上映(大賞・入選作品)

上映期間:2015年10月23日(金)～11月15日(日) ※休館日を除く

上映時間:毎時 11分と57分から3分間上映 (10:00～17:00 ※16:57を除く)

2.常設コンテンツ上映(大賞作品のみ)

上映期間:2015年11月16日(月)から1年間 ※休館日を除く

上映時間:毎時00分 (10:00～17:00)

■ジオ・コスモスについて

日本科学未来館のシンボル展示であり、世界初の有機ELを使用した地球ディスプレイです。「宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したい」という、館長毛利衛の思いから生まれました。直径6m、有機EL(96mm角パネルが10,362枚)を用いた世界に類のない高精細球体ディスプレイは、1,000万画素を超える高解像度で地球の姿をリアルに映し出します。

■「つながり」プロジェクトとは

科学情報を視覚化し、感性に届く表現によって共有することで、今の地球、今の自分についての「知」を深め、未来のビジョンをともにつくり上げるプロジェクトです。ジオ・コスモスは「つながり」プロジェクトの基幹ツールであり、本コンテストは「つながり」プロジェクトの一環として開催するものです。